

災害への備えは万全ですか？

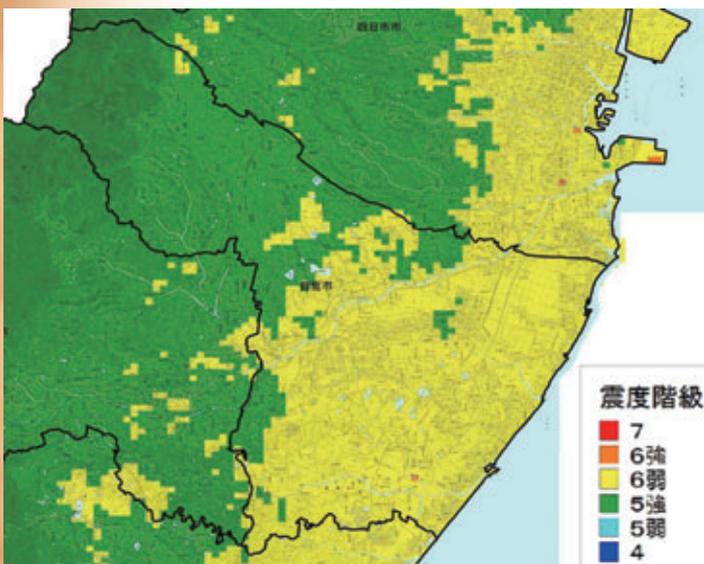
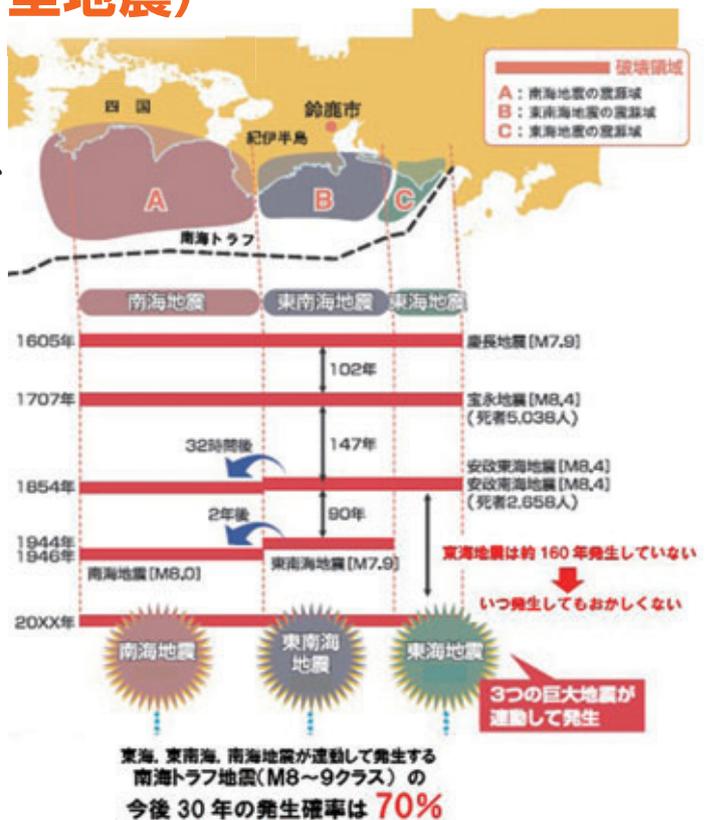
～地震・風水害被害に備えましょう～



4月14日・16日に起きた熊本地震では、最大震度7の揺れが立て続けに襲い、甚大な被害となりました。この地方でも、近い将来必ず起こると予測されている南海トラフ地震による大規模地震災害の危険が迫っています。今回は地震や大雨による災害への備えについてお知らせします。

南海トラフ地震(海洋プレート型地震)

東海から紀伊半島、四国にかけての太平洋沿岸を震源とする南海トラフ地震は、過去の歴史を見ても100年から150年程度の周期で繰り返し発生しており、今後30年の発生確率は70%程度といわれています。



南海トラフ地震(過去最大)の被害想定

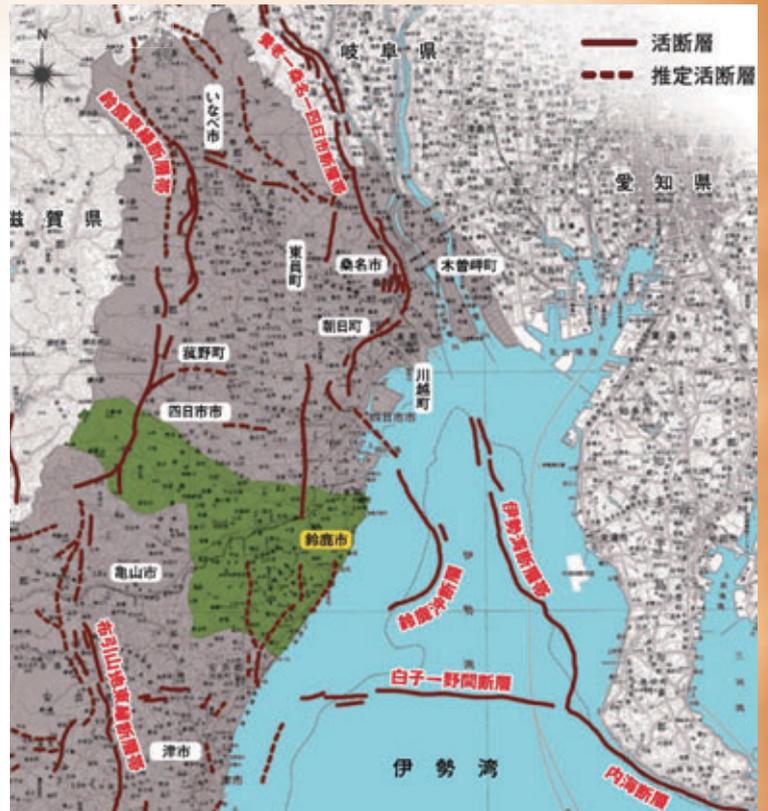
過去最大クラスの南海トラフ地震(1707年発生の宝永地震程度)が発生した場合の本市の被害は次のとおり想定されています。

海側 震度6弱 山側 震度5強
全壊・焼失建物(冬18時に発災した場合)約700棟
半壊建物 約7,300棟
死者数 約200人 重傷者 約760人
(冬深夜に発災し、津波からの早期避難が少ない場合)

活断層のずれによる直下型地震

活断層とは、岩盤が壊れて生じたずれによってできた断層で、過去にも活動を繰り返し、今後も動く恐れのあるものをいいます。文部科学省の特別機関である地震調査研究推進本部が公表した活断層の長期評価(平成28年1月1日現在)によると次のようになっています。

- 養老-桑名-四日市断層帯 M8程度
今後30年間の発生確率 ほぼ0~0.7%
活動周期 1,400~1,900年
- 鈴鹿東縁断層帯 M7.5程度
今後30年間の発生確率 ほぼ0~0.07%
活動周期 約6,500~12,000年
- 布引山地東縁断層帯(西部) M7.4程度
今後30年間の発生確率 ほぼ0~1%
活動周期 17,000年程度
- 伊勢湾断層帯(白子-野間断層) M7程度
今後30年間の発生確率 0.2~0.8%
活動周期 8,000年程度



命を守るための対策を

南海トラフ地震などの大地震では、家の倒壊や家具の転倒によりケガをしたり、逃げ遅れて火災に遭ったり、沿岸部では津波に巻き込まれ命を落とす危険があります(南海トラフ地震発生後の本市への津波第一波到達予測時間は約67~70分)。まずは、家の耐震化や家具の固定など地震の揺れから命を守る対策を行うことが大切です。

まずは耐震診断から

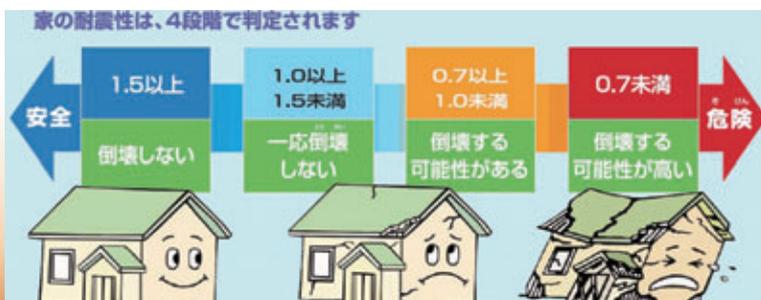
震度5強を超える地震で倒壊の恐れがある昭和56年5月31日以前の旧耐震基準で建てられた木造住宅について、市では電話などの申し込みにより無料で耐震診断を行っています。
※建築(着工)した年によって、適用された耐震基準が異なります。

・昭和56年5月31日以前

「震度5強程度の地震に耐えられる基準」

・昭和56年6月1日以降

「震度5強程度の地震ではほとんど損傷せず、震度6強~7程度の地震で全壊・崩壊しない基準」



評点0.7未満「倒壊する可能性が高い」と診断された木造住宅に対する補助制度

耐震補強設計費

最大16万円

耐震補強工事費

最大101.1万円(同時にリフォーム工事をを行うと最大121.1万円)

除却工事費

最大20万円

耐震シェルター設置費

最大25万円

※各補助制度には補助率や条件などがあります。詳しくは市ホームページをご覧ください。ただかお問い合わせください。

台風や大雨に備えましょう

台風や突発的な大雨による集中豪雨の発生回数が近年増加しています。これらの風水害被害は、事前に対策しておくことで、ある程度被害を抑えることができます。

大雨注意報・警報が出るのはこんなときです

注意報…災害が起こる恐れのあるとき

警報…重大な災害が起こる恐れのあるとき

特別警報…さらに重大な災害が起こる恐れが著しく大きいとき

避難が必要なときのポイント



暗くなってからの避難は危険ですので、早めに避難しましょう。お年寄りや身体が不自由な方、小さな子どもは自力で避難するのが難しいため、特に早めの避難が必要です。



近所の方と声を掛け合い一人では行動しないようにしましょう。歩ける深さでも注意が必要です。水の中には何があるかわかりませんので、杖などで安全を確かめながら進みましょう。流れが速い場合は特に注意しましょう。

車での避難は控えましょう。冠水した道路でエンジンが止まると、緊急車両の妨げになりますし、交通渋滞の要因にもなりますので、なるべく徒歩で避難しましょう。

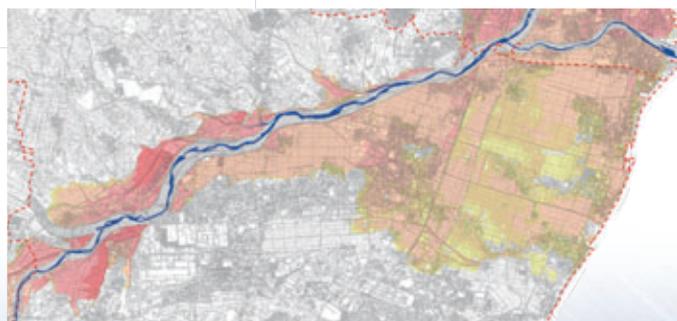


夜間や豪雨の場合、避難所までの移動が危険なときは、自宅の2階など高い所にとどまる垂直避難も有効です。



洪水浸水想定区域が指定されました

国土交通省三重河川国道事務所により、想定最大規模の降雨による鈴鹿川の浸水想定区域が発表されました。一定の雨量に伴う洪水で、鈴鹿川が氾濫した場合の浸水状況を、シミュレーションにより予測したものです。詳しくは国土交通省ホームページをご覧ください。



<http://www.cbr.mlit.go.jp/mie/news/assets/pdf/press/160531.pdf>

効果的な水防対策 水のう・土のう

○水のうを玄関先などに置くことで、ある程度まで浸水を防げます。



作り方



ごみ袋(45リットル程度)を二重にして半分まで水を入れて縛ります。



ダンボール箱に入れます。



ダンボール箱を並べて置きます。

ビニールシートを巻きつけるとより効果的です。



○土のうも水害対策に有効です。袋や砂はホームセンターなどで販売されていますので、事前準備を心掛けてください。事前準備が間に合わなかった場合、三重県建設業協会鈴鹿支部や鈴鹿災害防止協力会へ土のうの設置依頼ができますので活用してください。

※市では皆さんへの配布はしていません。

※設置依頼は有料ですのでご注意ください。



災害時に備えた準備をしましょう

事前に用意しておくことが大切です。災害時に必要なもの、あると役立つものを紹介します。いざというときに持ち出せるよう分かりやすいところに置いておきましょう。

- 停電に備えて懐中電灯や携帯ラジオを準備しよう
- 3日以上飲料水や非常食を準備しよう
- 浴槽に水を張るなどして、生活用水を確保しよう
- 公民館などの避難所への経路を確認しよう
- 普段から家族との連絡方法の話し合いをしよう



- ・ ペットボトルの水 (1日1人3リットル)
- ・ レトルト食品や缶詰
- ・ 懐中電灯
- ・ ラジオ
- ・ ヘルメット

高齢者や介護を受けている方がいる家庭

- 介護食
- 入れ歯
- 常用の薬(お薬手帳)
- 紙おむつ
- 介護手帳



赤ちゃんや妊婦がいる家庭

- 哺乳ビン
- 粉ミルク
- 母子手帳
- 衛生手帳



あったら便利リスト

- 大きなビニール袋
中央部に穴を開けてレインコートとして使用できます。
- ウェットティッシュ
水が不足している時にも顔や手をふけます。
- 食品用ラップ
お皿の上に敷いて使えばお皿が汚れず、洗う手間も省けます。
- 携帯トイレ

広報すずか特集「災害への備えは万全ですか?」についてのご意見・ご感想は防災危機管理課へ
☎059-382-9968 📠059-382-7603 📧bosaikikikanri@city.suzuka.lg.jp